

米国での情報発信による機運醸成

1 岩手県大船渡市 - ジャパン・ハウス ロサンゼルスでのパネルディスカッション -

- 外務省の戦略的対外発信拠点であるジャパン・ハウス ロサンゼルスにおいて復興ありがとうホストタウン登録自治体によるパネルディスカッションに参加した。当市からは大船渡消防署の職員が登壇し、東日本大震災直後、市内で共に捜索救助活動にあたったLA郡消防本部とのこれまでの交流について話した。これまで培ってきた絆を大切に、2020年の交流事業を成功させるとともに、今後も継続的な交流を実施し、大船渡市とLA郡消防本部が日米の友好の“かけ橋”とならんことを誓った。



2020年交流事業実施に向け
長官との協議



地元ステーションを訪問



在ロサンゼルス日本国総領事館を訪問



パネルディスカッションの様子①



登壇者での記念撮影

本件の問い合わせ先
大船渡市 生涯学習課 0192-27-3111

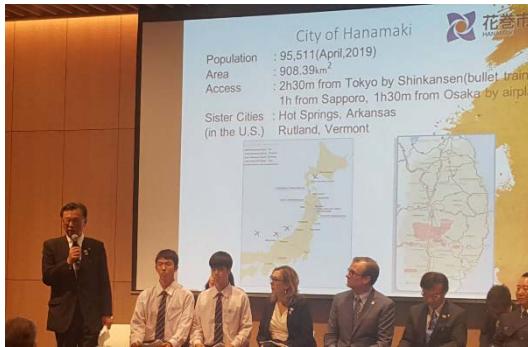


現地の日本人の方々とも交流

米国イベントでの活動 P R

岩手県花巻市 - ロサンゼルスにおいて米国の「復興ありがとうホストタウン」として P R -

- 米国のジャパン・ハウス ロサンゼルスで開催されるイベントにおいて、本市市長および花巻東高等学校硬式野球部員 2 名が、ホットスプリングス姉妹都市プログラムエグゼクティブディレクターであるメアリー・ズーニック氏、大船渡市、福島県喜多方市の代表者とともにパネルディスカッションを実施。被災地出身の花巻東高等学校の生徒は、震災当時の支援に対する感謝を伝えるとともに、花巻市の P R や、同校の卒業生であり大リーグで活躍する大谷翔平選手と菊池雄星選手を目標にしてきたことを発表した。 (2019年9月25日)



市長から花巻市の
概要等について説明



花巻東高等学校の硬式野球部員 2 名から
野球に対する思い、支援への感謝、オリンピックへの期待について発表



メアリー・ズーニック氏から花巻市との
姉妹都市交流について発表



イベント後、参加者との集合写真

本件の問い合わせ先
花巻市 生涯学習部国際交流室 0198-24-2111



在ロサンゼルス日本総領事館
総領事表敬訪問



日豪相互訪問による交流促進

1 岩手県釜石市 - 日豪小学生の交流とオリンピック関連機関等の訪問 -

- 釜石キッズラグビー国際交流プログラム（2018年9月14日～17日）に、オーストラリアの子供達を招き、釜石小学生の国際交流意識の向上を図った。
- 元オーストラリア代表のスコット・ファーディー選手を釜石に招いた際の、市民、子供達との交流を収録したプロモーションビデオを活用しながら、オーストラリアラグビー関係者に対して、復興支援の感謝を伝えるとともに、釜石市のPRと東京2020大会時の当市への招致、交流をオーストラリアを訪問し呼びかけた。（2018年11月4日～11日）



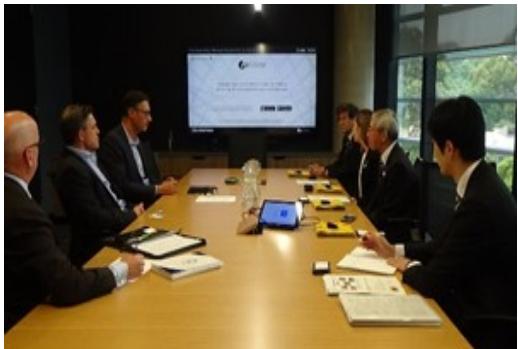
釜石キッズラグビー国際交流プログラム
集合写真



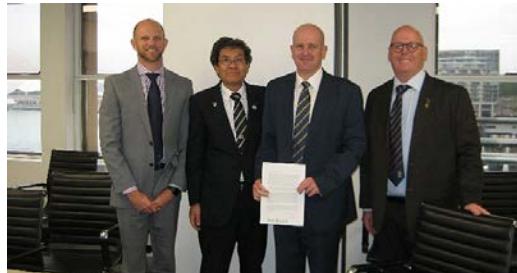
国際理解教室の様子



太鼓の体験



ラグビー協会との協議



オリンピック委員会訪問



タムワース市長、市議会訪問

本件の問い合わせ先
釜石市 生涯学習文化スポーツ課 0193-22-8835

復興ありがとうホストタウンの取組 福島県喜多方市 (アメリカ)

- 2019年1月 現在もサンディエゴ・パドレスでアドバイザーを務める野茂英雄氏を招いた講演会と野球教室を開催。
- 2019年3月 MLBからプレシーズンゲームの招待を受け、市内の中学生が観戦。アスレチックスの監督らから歓迎を受ける。
- 2019年8月 東京大会のプレ大会に出場した米国ボート協会選手、役員を招へいし市民との交流事業を実施。市内の生徒が米国代表選手とボート練習を行い交流を深めた。
- 2019年9月 ロサンゼルスのジャパン・ハウスで復興ありがとうホストタウンイベントに参加。米国ボート協会の役員とともにホストタウン交流事業を米国関係者にPRした。
- 姉妹都市ウィルソンビル市の関係者を招き、支援への感謝と復興に歩みを進める本市の姿を発信した。

野茂英雄氏を招いた野球教室の開催



MLBプレシーズンゲームの観戦



米国ボート協会選手を招へい



米国代表選手とのボート練習



ジャパン・ハウスでのデスカッション



復興対策の取組を視察



本件の問い合わせ先
喜多方市生涯学習課 Tel0241-24-5327

南アフリカ共和国訪問による交流促進

宮城県岩沼市 - オリンピック関連団体等への訪問と両国の生徒達のテレビ会議を実施 -

- 市長及び市職員 2 名が南アフリカ共和国を訪問し、南アフリカスポーツ連盟・オリンピック委員会 (SASCOC) 及び単位協会 (ラグビー、陸上、サッカー) 並びに被災直後に支援を受けた南アフリカの救助隊 (NGO「Rescue South Africa (RSA)」) 等を訪問し、当市の復興状況、ホストタウン活動の取組みとともに復興支援への感謝を伝え、東京2020大会後の交流について意見交換を行った。 (2020年1月20日～22日)
- 同国訪問に合わせ、南アフリカのクロフォード校と、岩沼小学校の生徒が、テレビ会議システムを使った交流を行い、お互いの国の国歌を歌ったり、まちの紹介を行った。 (2020年1月22日)



南アフリカオリンピック関連団体等との
意見交換



RSA訪問



お互いの国の国歌を歌う
両国の生徒達



色紙を贈呈しました



クロフォード校と岩沼小学校の
テレビ会議による交流の集合写真



クロフォード校に「きぼうのおか」絵本を
贈呈しました

オランダでの復興状況PRイベント

岩手県山田町

- 相手国オランダで、山田町産の食材を使ったイベントを実施し、復興状況をPR
- 東日本大震災以降、生産量が回復しつつある山田町産食材を使った和食を提供
- オリンピック出場を目指すオランダ人空手選手の自宅へ訪問、和食で選手を応援



オランダ人空手選手自宅で和食の提供



日本からはシェフ2名が帯同



オランダ人との食文化交流イベント



提供した和食



大使館表敬訪問



復興ありがとうホストタウンイベント

本件の問い合わせ先
山田町 生涯学習課 社会体育係 0193-82-5505

オリパラ基本推進事業

岩手県大槌町 - 2020台北國際動漫節とオリンピック関連機関等の訪問 -

- 2020台北國際動漫節へのブース出展及びステージ出演等により、復興支援への感謝及びホストタウン活動の意義等を効果的に発信し、今後のホストタウン交流の深度化につなげるとともに、東京大会時に台湾から訪日する観戦者に対してホストタウンである各自治体を訪問してもらうきっかけとするため4自治体による連携出展
- 台湾の支援団体やオリンピック関係者を訪問し、これまでの支援の感謝を伝え、大会終了後に本競技大会出場選手の招請への具体化に向けてお願いするため訪問



2020台北國際動漫節
4自治体ブース出展



2020台北國際動漫節
4自治体ステージ出演



2020台北國際動漫節
SNS発信



台湾オリンピック委員会
競技団体訪問



台湾パラリンピック委員会訪問



台湾赤十字訪問



台湾佛教慈済会訪問

本件の問い合わせ先
大槌町 産業振興課 0193-42-8725

2020台北國際動漫節出展 岩手県野田村 - 関係団体訪問と台灣陸上協会の招聘 -

- 台北市で開催される「第8回台北國際動漫節」に4自治体が連携してブースを出展し、ホストタウンの取組を効果的に発信した。また、台灣オリパラ協会等を訪問して東日本大震災による支援に対する感謝を伝えるとともに、今後の交流を依頼・協議した。(2020年1月31日～2月1日)
- 台湾の一流陸上指導者・選手から技能・知識等を学び、スポーツ少年団員のトレーニングメニューの充実を図るとともに、復興ありがとうホストタウンの相手先である台湾とのさらなる交流の深化を図った。(2020年2月7日～2月10日)



第8回台北國際動漫でのブース出展



台湾オリパラ協会等訪問



走り方教室



動漫節ステージでの取組発信



伝統文化披露

本件の問い合わせ先
野田村 教育委員会事務局 0194-78-2936

台北国際動漫節出展とオリンピック選手来村に向けた競技団体の訪問 福島県北塩原村

- 台北国際動漫節に内閣官房と台湾を復興ありがとうホストタウンの相手先とする4自治体で出展。台湾の方々に復興ありがとうホストタウンの取組みをPRした。（2020年1月31日～2月4日）
- 台湾オリンピック委員会及び卓球、バドミントンの各競技団体を訪問し、オリンピック後の台湾代表選手の来村を呼び掛けた。



卓球協会の代表者に来村を呼び掛け



バドミントン協会の代表者に来村を呼び掛け



台湾オリンピック委員会を訪問



台北国際動漫節のホストタウンブース



内閣官房やホストタウン自治体で出展



大勢の方が来場した台北国際動漫節

東京2020大会 台湾を応援する「復興ありがとうホストタウン」 福島県南相馬市 -台北国際動漫節で相馬野馬追をPR-

- 台湾の「復興ありがとうホストタウン」を務める本市など4自治体は、内閣官房とともにアジア最大級のポップカルチャーの祭典「台北国際動漫節」に出展し、被災時に受けた支援に対する感謝の気持ちを伝えるとともに、復興の現状とプロセスを発信した。（2020年1月31日～2月4日）
- 本市は、騎馬武者に扮した職員が来場者と記念撮影をし、陣羽織姿を体験していただきながら、今年7月に開催される相馬野馬追をPRした。



ブースの様子



PRの様子



ポケモンやアイドルも登場



来場者の様子



ステージでのPRの様子



会場の様子

本件の問い合わせ先
南相馬市観光交流課 0244-24-5263

チリ青少年オーケストラ財団(FOJI)招へい事業 － 加美町と南三陸町とチリとの音楽を通じた交流促進 －

- 音楽による交流促進を図ることを目的に、2020年2月18日～22日に、チリ青少年オーケストラ財団(FOJI)の代表3名を招へいした。
- 2月20日に以前より交流があった南三陸町を訪れ、震災の様子を見学するとともに、南三陸町でのコンサート開催の可能性を探った。
- 同じくチリ国のホストタウンとして登録し、連携を進めている三鷹市でのコンサート開催に向け、在京チリ大使館及び文化庁を訪問した。



加美町バッハ管弦楽団との打ち合わせ、バッハホール見学



加美町役場訪問



南三陸町訪問



在京チリ大使館訪問



文化庁訪問

復興ありがとうホストタウン

福島県檜葉町・広野町・川俣町 ー アルゼンチンブラインドサッカー代表チーム招聘事業 ー



- アルゼンチン共和国とは、サッカーW杯日韓大会公認キャンプ実施やフルクローレ音楽祭の開催などで縁があり、震災後に多くのご支援を受けたことから、同国ブラインドサッカー代表チームを招聘し、交流を通して復興支援への感謝や復興した姿を伝えた。(2019年10月31日～11月7日)
- 地域の子供達が体験イベントや試合観戦を通してパラスポーツの独自の感覚や魅力を体感するとともに、異文化に触れ、障がい者と関わり、多様性を身につける機会とした。またパラスポーツへの関心を高め、2020年パラリンピックでの観戦や応援等の機運醸成を図った。



パラスポーツ等を通した交流



お茶会



施設見学



ホストタウンサミット in Jヴィレッジ



歓迎レセプション

セルビア人来訪による交流促進 埼玉県富士見市 – 卓球大会・特別支援学校児童生徒との交流 –

- 第1回グリシッチ杯（2020年2月18日）ネナド・グリシッチ大使、セルビア人の方を招き卓球・障がい者卓球を体験することにより、セルビアの共和国の周知、東京2020パラリンピック競技大会への関心を高めた。
- セルビア人の方が市内にある特別支援学校を訪問し、セルビア風給食を児童生徒と一緒に喫食し国際交流を図りセルビア共和国への関心を高めた。（2020年2月19日）
- 「ユニバーサルデザインの街づくり」「心のバリアフリー」といった共生社会の実現に向けての研修を行った。



第1回グリシッチ杯集合写真



ネナド・グリシッチ大使との交流



障がい者スポーツの様子



特別支援学校児童生徒との交流



ユニバーサルサービス研修会



特別支援学校児童生徒との交流

本件の問い合わせ先
富士見市教育委員会生涯学習課 049-251-2711

「SDGs未来都市」真庭市が目指す「共生社会」の実現に向けて 岡山県真庭市 – ドイツパラリンピアンとの交流と日本人パラリンピアンとの交流 –

- ◎ ドイツのパラ馬術のパラリンピアンでメダリストのアンジェリカ・トラバート氏を迎える(2020年1月7日～10日)、講演会の開催や学校訪問を行い、市民などとの交流を図った。あわせて、東京のオリンピック・パラリンピック関連施設や真庭市の公共施設等を訪問して、施設のバリアフリーについて意見交換を行った。
- ◎ 日本人パラリンピアンの上原大祐氏を招いて、心のバリアフリーの講演会、小学校での体験学習、スポーツ関係者向けにパラスポーツの講義などを開催(2020年2月5日～6日)した。また、ボッチャやゴールボールなどのパラスポーツ体験会も開催(2020年1月26日)した。福祉関係などにも声掛けを行い、一緒に体験を行った。
- ◎ ドイツパラリンピアン、日本人パラリンピアンとの交流を通じて市民の共生社会に向けた意識が高まり、共生社会実現に向けて取り組む官民組織「ホストタウン事業推進会議」の設立に繋げた(2020年2月20日結成大会開催)。



ドイツパラリンピアン講演会後の
集合写真



ドイツパラリンピアン小学校
訪問の様子



公共施設訪問の様子



ホストタウン事業推進会議
結成大会の様子



日本人パラリンピアン講演会の様子



日本人パラリンピアン小学校
訪問の様子



パラスポーツ体験会の様子

本件の問い合わせ先

真庭市 生活環境部 スポーツ・文化振興課 0867-42-1178

1 東京都世田谷区 -

米国パラリンピアンとともにまち歩きを通して考える、「心のバリアフリーシンポジウム」を開催

- 「車いすラグビーワールドチャレンジ2019」の出場に合わせて来日中の車いすラグビーの米国代表パラリンピアン4名と日本大学文理学部の学生等が、当日午前中に下高井戸商店街のまち歩きによるまちの点検を行いながら、複数の店舗に訪問し、商店街の方と交流を行いました。
- 午後からは、日本大学文理学部オーバルホールにおいてシンポジウムに参加し、米国におけるバリアフリー等の現状や、他のパネラーとのパネルディスカッションを行い、午前中の商店街との交流を踏まえ、まち・心のバリアフリーについて、137名の参加者と一緒に考えました。



【まちの点検の様子】



本件の問い合わせ先

世田谷区障害福祉部障害施策推進課 03-5432-2958

龍郷町ホストタウン交流事業

鹿児島県龍郷町 - 西郷菊次郎翁から始まる台湾との絆 - ☆共生社会の実現☆

☆台湾宜蘭支庁長を務めた西郷菊次郎翁（本町にて生誕）の功績を機に2018年台湾宜蘭市との交流宣言締結☆

- 小中学生との交流により国際交流意識の向上を図った。グローバルな人材育成。（1月17日）
- 障がい者施設（知的・身体）を訪問し交流、バリアフリー等の視察も行った。（1月18日）
- 卓球教室の開催によりパラアスリートとの交流、東京パラリンピック大会への気運醸成を図った。（1月18日）
- ウエルカムパーティにおいて奄美の伝統文化を体験していただき交流を深めた。（1月18日）
- 奄美大島の伝統工芸品、本場奄美大島紬を着ていただき奄美の伝統に触れていただいた。（1月19日）



空港での出迎え



小中学生との交流



障がい者施設での交流



卓球教室



ウェルカムパーティでの伝統文化の体験



本場奄美大島紬の着付け体験

本件の問い合わせ先
龍郷町企画観光課 0997-69-4512